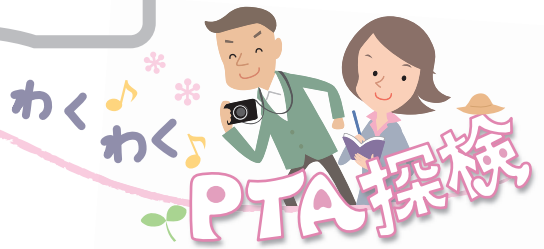


川で感じる ふるさとの魅力



豊 根中の校舎のすぐそばには、アユ釣りや川遊びの観光スポットでもある大入川おおひらがわが流れている。この自然を生きかし、8月にはPTAや地域のかたとともに、「自然と親しむ会」を開催した。

この日はまず、午前中に学校周辺をきれいにする親子美化作業を行った。炎天下にもかかわらず、誰も音をあげることなく草刈りや環境整備に取り組んでいたようだ。きっと、午後からの川遊びへの楽しみが、そうさせているのだろう。



「おなかすいた！」
ふるさとの味に手が伸びる。



素潜りで魚を探し、「ひっかけひっかけ」で魚をひっかける。



「ひっかけたのにはずれちゃった！」
これもまた楽しい。



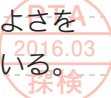
川魚は炭火で焼くのが一番。子どもたちも手ぎわよく焼いていく。

子どもたちは、汗をかいた体で気持ちよさそうに大入川へ。伝統漁法「ひっかけ」でアユを捕まえる。網で作った仕掛けに魚を追い込み、素手で手づかみだ。「でっかいアユを捕まえたよ！」

素潜りをしたりひなたぼっこをしたり、夢中で楽しむ姿に、保護者の頬も緩む。

お昼ご飯は、PTAが漁業組合やヤナ組合、豊根中OBのかたがたの協力も得ながら準備。アユの塩焼きや「鮎あゆこく」というみそ汁は、絶妙の熱さとおいしさで、川遊びで冷えた体に震えがくるほどしみいる。地元産の野菜を使ったサラダや漬物もあり、みんなのおなかを満たしながら、地域の味を伝えている。

自然と親しむ会は、ふるさとの魅力を実感できる体験として、PTAが大切にしている活動の一つ。ふるさとのよさを感あじながら育あってほしいと願あっている。



DATA 所在地●北設楽郡豊根村上黒川兎鹿嶋12の2 生徒数●30人 周辺環境●学校があるのは、奥三河にある人口1,300人の村。新豊根ダムによってできたみどり湖周辺は、桜や紅葉の名所や漂流釣りの好スポットとして知られる。学校では、自然と親しむ会や愛知県最高峰の茶白山ちやうすでのスキー部活動など、村の特色を活かした活動を続けている。